

地域を知ろう(5)

～高円寺五丁目庚申堂由来記～

この庚申堂は、環状七号線の杉並消防署高円寺出張所の東側に祀られています。

現在の所在地は高円寺南五丁目三十二番地になっていますが、以前は武州多摩郡野方郡高円寺村といわれていました。

元禄十四年辛巳（かのとみ）（二七〇一年）十一月二十五日建立の庚申塔、寛保元年辛酉（かのととり）（一七四一年）建

立の子育て地蔵には「祈願成就菩薩」願主、榎本忠左衛門と名前がきざまれています。宝暦十年庚辰（かのえたつ）（一七六〇年）の千手観音菩薩の三基が建立されています。この庚申塔は元禄八年（一六九五年）時の将軍

徳川綱吉が中野の現在の囲町に犬小屋を作り野犬を収容しましたが、元禄十一年中野の犬小屋が手狭となり高円寺村に拡張する際、用地に居住していた農民が移転をしいられ、他の

村に移住した人もいたが、心痛で病気になる人々も出てきたため、この庚申塔が建てられたと伝えられています。

現在の庚申堂は昭和五十六年五月に地域の有志の方々によって改修されました。地元の守り神として、信仰厚い人達によっていつもきれいな花が供えられてこの地の平和を祈念されています。



子育て地蔵尊にきざまれている榎本忠左衛門さんは（通称忠兵衛）お話を伺った榎本九一さんの十二代前の当主です。

この辺の地主さんでした。